

平成 25 年 7 月 8 日（月）

介護高齢課訪問（懇談）

旭川地域小規模多機能型居宅介護事業所連絡会

○出席者 旭川市 旭川市介護高齢課 大槻課長 運営推進係 小松様
連絡会 板橋会長 清水副会長 布重事務局長

○日 時 平成 25 年 7 月 8 日（月）10:00～10:45

○場 所 旭川市役所介護高齢課

1. 事前アンケートの集計結果より抜粋

懇談に先立ち連絡会で行ったアンケートをそのまま（事業所名を削除）旭川市へお渡しし、以下のよう
に要点を報告した。

① 営状況

ほとんどの事業所が運営が「厳しい」～「とても厳しい」の回答。

② 看取りに踏み切れない事業所が多い。→看護師とか医療的な部分の問題かと感じる。

（…視野に入っていないとの回答は、残念ではある）

③ 困っていること

- ・ 職員の確保大変
- ・ 小規模多機能らしさを知ってもらう研修会を設ける（連絡会の仕事）
- ・ 小規模多機能がコンビニ的使われ方をしている。→例えば要支援の方が毎日通いで来ているなど…→
介護支援専門員や包括支援センターの職員が、小規模多機能への認識が不足している場合も見受けら
れる。
- ・ 長期の泊りが多く、泊りを絡めたい新規の利用者の紹介があってもお受けすることができない。
- ・ 給付限度額→どうしたら良いのか？訪問看護や福祉用具（重度になればなるほど必要）しかし、利用
すればすぐに給付限度額オーバーしてしまう。訪看の時間を削ったり、ベッドを3モーターから2モ
ーターにしたり…苦慮している。
- ・ 複合型について…札幌の複合型の事業所に聞くと、小規模のほうで取る加算を減らして（加算を取っ
てしまうとあつという間に給付限度額オーバーしてしまうので）レンタルなど出来なくなるのを防い
だりしている。→良策がわからない。

④ 今後も小規模多機能を継続運営していきますか？

一応皆様「はい」なので、我々ガッチリスクラムを組みながら高齢者の在宅生活を豊かにしながら「安
心して歳とてっていいよ！」って言えるような、経営していきたい。

⑤ どこが改善されればより健全に運営を継続していけるとおもいますか？

（※③の質問とダブっている項目あり）

- ・ Gハウスとの相関関係…すぐに「長期入所」にならないためにはどうしたら良いのか？
- ・ 外部のケアマネでも良いのでは？→現行では内部のケアマネであるという事でメリットもあるが、他
のサービスと分断されてしまうなどのデメリットもある。→居宅介護支援事業所も厳しいという現状
もある（利用者を手放したくない）

- ・小規模多機能を単体で経営するのは困難。ハウス併設型は「地域包括ケア」に対する小規模多機能本来の役割には合わない。どうすれば「本来の役割」と「健全な経営」を両立できますか？

2. 懇談より・・・

①旭川市より

- ・小規模多機能は、地域包括ケアに欠かせない。

周囲の専門職に周知と理解必要 → 現実には厳しい・・・

第6期の間に、ある程度今後の方向付けを示さなくてはとは思っています、とのこと。

- ・啓蒙という観点…利用者やご家族へのメッセージを届けなければならない→これについては連絡会に頑張ってもらいたい。具体的には、市民向けのフォーラムや地区市民委員会での発表など。
- ・過疎地域の地域会議より→旭川市に対して「施設を作ってもらいたい！」などと要望があったりするが、施設を作るのは市ではなく民間業者。そういった住民会議に連絡会として参加して頂けないか？（事業所単位でというわけにはいかないの）

②付随して…

- ・旭川市の社会福祉審議会や認定調査委員会に連絡会の役員を参加させて頂けないか？（会）
→ 良いと思う（市）
- ・地域で旭川市主催の懇談会等を行うと、地域の方からはどうしてもインフラ整備（入居施設新築等）の要望というお話が出てきやすい。そうではなくて今ある資源の活用だとか、地域の中で足りないサービスがあれば、それを作るときどうやってやるかっていう話をしたい。私たちがそういうお話し合いに入れば良いかなと思う。（既存のサービスでは対応できないことを、小規模多機能ではできるという利点がある）

③要望

- ・施設利用時に訪問看護が入れるように旭川独自で策定出来ないか？（会）
→ 介護保険をダブルで同時利用は難しい（ハードルが高い）かもしれないが、調べてみる（市）
- ・利用者さんの負担額を軽減できる方策無いかな？
- ・例えば居宅連協さんで、小規模多機能に対するアンケートを実施してみても？

※ アンケートについて…会員事業所22事業所中、12事業所様よりご回答いただきました。小規模多機能の本来あるべき姿像や、私達の仕事は対人間であること、そしてそれらを守りながらも現実的な壁（収支や職員確保の事等）を突破しなくてはならないことなど、熱く記入して下さいました。また、小規模多機能の職員はオールラウンダーでなければならないのでは？というご意見もあり、それだけ多岐にわたるサービスを提供できるだけの守備範囲の広さ（多様性）を求められていることも現実です。連絡会としてできる限りの活動（特に啓蒙活動・研修会・他協議会等への参加等）はして参りますし、行政には報告を怠らず今回のように良きアドバイスを頂ければと思います。

この度アンケートにご協力して下さいました皆様へ感謝致します。ありがとうございました。